

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・施設の管理・運営

事業名	3004	希望ヶ丘処理区施設維持管理経費
基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する

担当部課名	伊賀支所産業建設課下水道室
作成者氏名	北川幹洋
連絡先	45-9109

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	希望ヶ丘処理区に居住する住民	成果(どうなるのか)	健康で快適な生活が営め、公共用水域の保全が出来る。
	本年度事業内容	施設設備の維持管理、下水道使用料の徴収事務を行なう。		
運営主体	直営 (委託先:未定)	指定管理	民間委託等	根拠法令・要綱等
市内の類似施設	新都市浄化センター			
伊賀市公共下水道条例				

投入資源

	H19	H20	H21	
投入人員	0.3	0.3	0.3	
正規職員 (人)				
人件費合計(A)	2,160	2,160	2,160	
支出内訳(千円)				
事業費(B)	9,865	10,452	13,202	
委託料	5,443	5,447	5,447	
需用費	3,943	4,643	7,393	
その他	479	362	362	
合計(A+B)	12,025	12,612	15,362	
財源内訳(千円)				
特定財源				
国県支出金				
地方債				
受益者負担				
その他特財				
一般財源	12,025	12,612	15,362	
上記 ~ に関する特記事項				
人件費は、予算上の金額が未確定のため 支出内訳へは含めていない。				

活動指標

活動指標	単位	目標値	
		平成 19 年度	年度
水洗化率	%	100	
放流水質	%	100	
使用料金収納率	%	90	

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H19目標値
水洗化率	施設を利用できる人口と利用している人口の割合	%	100
放流水質	計画放流水質以下での安定した放流	%	100

評価	必要性	4	希望ヶ丘住宅地は、35年前に民間開発された団地で入居率は約25%である。現在においての生活排水処理は、生活雑排水のみを集合処理、尿尿については、浄化槽又は汲み取り式で処理を行なっているが、施設の老朽化が極めて激しく、処理能力も低下している。希望ヶ丘浄化センターは、それに代わる下水道処理施設であり、高い処理能力、性能を有しており、地元住民の期待は非常に大きいことから、供用開始後は、その期待に応えるよう、適正な施設運営、汚水処理を行わなければならない。
	有効性	4	当該施設は、現時点で受益者数約500戸を対象としており、公共用水域並びに住環境への貢献度は非常に高い。
	効率性	4	供用開始予定の平成19年度中には、既設雑排水処理施設が廃止され、同時に下水道への完全移行となる。既設雑排水処理施設では、雑排水のみを集合処理していたが、当該施設では、雑排水並びに尿尿を一括して処理するため効率性は高い。

総合評価

A